

第7回慢性便秘診断・治療研究会 会長を務めて

我が国における慢性便秘症の診断・治療の標準化を目的として2017年に初の診療ガイドラインが発刊されました。その後、エビデンスに基づく適切な診断・治療法を医療従事者のみならず、患者さんへの提供を目的として「慢性便秘診断・治療研究会」が発足し、2018年5月12日に第1回の研究会が開催されました。毎年研究会が開催されており、令和6年8月24日に開催された第7回の研究会において当院の河原秀次郎医師（院長補佐・外科部長）が会長を務めました。2023年に改訂された診療ガイドラインの発刊後、初の研究会になります。

慢性便秘症に対する治療薬は、以前は酸化マグネシウムと刺激性下剤しかなく、その治療に難渋していましたが、2012年の上皮機能変容薬の発売を皮切りに計6種の新薬が発売されました。それぞれの治療薬の効果や治療の位置づけについて議論され大変有意義な研究会になりました。以前は「排便できれば良い」という治療概念でしたが、最近では「排便の満足感を高める」という治療概念に変わってきていることも確認できました。



顧問：中島先生
（横浜市立大学大学院医学研究科 肝胆膵消化器病学教室 主任教授）

会長：河原医師

司会：稲森先生
（横浜市立大学医学部 医学教育学 主任教授）

第7回

慢性便秘診断・治療研究会

日時

2024年8月24日(土) 16:00～18:30

実施方法

Web配信 下記URLよりご視聴頂けます ※数字、英字、大文字、小文字をお間違えないようにお願いいたします。

<https://bit.ly/3xDlrj0>

「エイチティーディーピーエスコロンスラッシュスラッシュビーアイティードットエルワイスラッシュサンエックスディーアイアールジェイゼロ」

開会の挨拶 16:00～

中島 淳 先生

横浜市立大学大学院医学研究科 肝胆膵消化器病学教室 主任教授、
横浜市立大学医学部 医学部長

一般演題 16:00～

司 会

稲森 正彦 先生

横浜市立大学医学部 医学教育学 主任教授

16:00～
16:12

石原 洋 先生

国際医療福祉大学医学部消化器内科学 助教、
国際医療福祉大学成田病院緩和医療科

緩和ケア領域の便秘症患者を対象に直腸エコー所見別の
新規便秘治療戦略を開発するための多施設前向き観察研究

16:12～
16:24

三澤 昇 先生

横浜市立大学 消化器内科・肝胆膵消化器病学教室 助教

ポータブルエコーを用いた直腸便性状評価の検討

16:24～
16:36

味村 俊樹 先生

自治医科大学 外科学講座 消化器一般移植外科学部門 教授

「便通異常症診療ガイドライン2023 慢性便秘症」の意義・問題・課題

特別講演 16:40～

司 会

中島 淳 先生

横浜市立大学大学院医学研究科 肝胆膵消化器病学教室 主任教授、
横浜市立大学医学部 医学部長

河原 秀次郎 先生

国立病院機構 西埼玉中央病院 院長補佐・外科部長

16:40～
17:25

高野 正太 先生

大腸肛門病センター高野病院 院長

便通異常症診療ガイドラインから探る、排便困難型便秘症のマネジメント

17:25～
18:10

福土 審 先生

石巻赤十字病院 心療内科 部長、
東北大学先端量子ビーム科学研究センター研究教授、東北大学名誉教授

慢性便秘症の最近のエビデンス

18:10～
18:25

質疑応答

閉会の挨拶 18:25～

河原 秀次郎 先生

国立病院機構 西埼玉中央病院 院長補佐・外科部長



VIATRIS

当番幹事：河原 秀次郎 先生(国立病院機構 西埼玉中央病院 院長補佐・外科部長)

共催：慢性便秘診断・治療研究会／ヴィアトリス製薬合同会社

AMT920035
2024年7月